



ファームウェアバージョン:	R2.06beta03rc042
ハードウェアバージョン:	B1
発行日:	2016/1/6

本リリースノートには、D-Link 製アクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のアクセスポイントがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

アクセスポイント本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
注意事項：	2
アップグレード手順：	2
Web GUI を使用したアップグレード	2
追加機能：	4
修正した問題点：	4
MIB および D-View の変更点：	4
既知の問題：	5

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R2.06beta03rc042	2016/1/6	DAP-2360	B1

注意事項：

- 1.本ファームウェアは、DAP-2360 H/W バージョン B1 用のファームウェアです。必ずご使用の H/W バージョンをご確認の上、ファームアップを行ってください。
- 2.本ファームウェアにアップグレードする際は、必ず先に、同梱されている R2.01beta07rc040 にアップグレードしてから、本ファームウェア（R2.06beta03rc042）にアップグレードする必要があります。
- 3.本ファームウェアにおいて、Captive Portal 機能の設定項目について、再構成を行っているため、Captive Portal 部分についてのコンフィグが引き継がれません。
恐れ入りますが、Captive Portal 機能をお使いの場合は、本ファームウェアにファームウェアアップグレード後、再設定を行ってください。

アップグレード手順：

ファームウェアのアップグレードは、Web GUI から行うことができます。
アップグレード方法は次の「[WEB GUI を使用したアップグレード](#)」の手順に従い進めてください。

Web GUI を使用したアップグレード

1. 本製品と設定用の PC を接続後、WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに WEB GUI の管理画面を表示します。
※工場出荷時状態の IP アドレスは <http://192.168.0.50> です。
2. WEB GUI のログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力し、ログインしてください。
※工場出荷時状態のユーザ名は「admin」、パスワードを「空白」です。
3. ログイン後、上部のメニューから「Maintenance」->「Firmware and SSL Certification Upload」の順でクリックします。



4. 「Firmware and SSL Certification Upload」画面が表示されたら、「Update Firmware From Local Hard Drive」の「参照」ボタンをクリックし、ローカルのハードディスクに保存した **R2.01beta07rc040** を選択します。



5. ファームウェアを選択した後、「Upload」ボタンをクリックして、ファームウェアをアップデートします。

注意：ファームウェアのアップデート中に、電源を切らないでください。アップデート中に電源を切ると、起動に失敗し、正常に起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

6. ファームウェアのアップデートを開始すると、下記の画面が表示されます。



7. ファームウェアが正常に終了するとログイン画面が表示されます。再度ログインし、ファームウェアがアップデートされているかご確認ください。
8. 手順 7 まで完了後、再度、手順 1 に戻り、手順 7 までを行ってください。なお、手順 4 では必ず、**R2.06beta03rc042** を指定してください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R2.06beta03rc042	<ol style="list-style-type: none"> 1. Captive Portal ページのカスタマイズをサポート致しました。 2. Captive Portal でセッションタイムアウトの設定（10～1440 分）に対応致しました。 3. Syslog サーバでドメイン名をサポート致しました。 4. Captive Portal において、Encryption Type から Authentication Type に名前を変更致しました。 5. Captive Portal の設定を統合、再構成致しました。 6. Captive Portal において、IP Filter 機能を実装致しました。 7. AP Array version2.01 に対応致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R2.06beta03rc042	<ol style="list-style-type: none"> 1. IPv6 の Auto Mode を有効にすると CPU 高負荷になる問題を修正致しました。 2. Connection limit>user limit 機能を有効にした場合、AP が現在の接続ユーザ数がユーザ制限よりも多いと誤認識し、アソシエートに失敗する原因となる問題を修正致しました。 3. シスログサーバへのシスログ送信を停止する問題を修正致しました。 4. VLAN が有効な SSID に STA がアソシエートした際、STA のアップロードトラフィックの帯域制御機能が動作しない問題を修正致しました。 5. Ethernet to WLAN を無効にしていると、インターネットアクセスができない問題を修正致しました。 6. AP Array にて Backup Master が、Master Role とならない問題を修正致しました。 7. 設定変更により、CPU 高負荷になる問題を修正致しました。 8. 2.4GHz の Primary SSID を有効にしていない場合、他の SSID では、Captive Portal が動作しない問題を修正致しました。 9. Rogue AP スキャンを行うと、ソートした結果をリセットする問題を修正致しました。 10. WDS with AP で Captive Portal を使用している場合、リモート AP の MAC アドレスパスコードが消える問題を修正致しました。 11. VLAN が有効な場合に Captive Portal の LDAP、パスコードでの認証に失敗する問題を修正致しました。 12. AP Array を有効すると、数日後に通信ができなくなる問題を修正致しました。 13. Captive Portal において、Duration での設定時間経過後も、クライアントは再度認証を求められない問題を修正致しました。 14. Internet Explorer 8, 9, 11 において、https 経由でログインができない問題を修正致しました。

MIB および D-View の変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.06beta03rc042	dot11SSIDNumber を追加致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R2.06beta03rc042	<ol style="list-style-type: none">1. WebUI において、IPv6 の HTTPS をサポートしていない問題。2. IPv6 と AP Array は併用できません。3. Captive Portal の設定が旧 FW バージョンから引き継げない問題 => 解決策：アップグレード後、Captive Portal 部分については、再設定を行ってください。4. 旧ファームウェアから本ファームウェアに直接ファームアップできない問題 => 解決策：R2.01beta07rc040 に一度ファームアップ後、本ファームウェアにアップグレードしてください。

Copyright 2006-2015 D-Link Japan K.K.